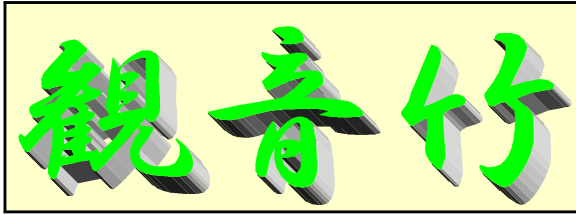


【学校教育目標：自他を大切にし、自律できる八幡小の子どもを育てる】



6月の目標

生活：静かに右側通行で歩き、落ち着いた生活をしよう
保健：歯と口の健康づくりにつとめよう
安全：室内での安全な過ごし方を工夫しよう

令和4年 6月号
R4. 6. 3 発行

<http://eshachiman.synapse-blog.jp/hachimanes/>

いろいろなコミュニティ

今週は、6年生が5月31日～6月2日の日程で修学旅行に行ってきました。2日目少し雨が降りましたが、天候にも恵まれ、とても充実した内容でした。6年生の子どもたちがこれまで取り組んできた学習、そして、学校だけでなく家庭生活、地域での活動など、小学校生活5年と2か月を含む11年間で身に付けた経験が充実した活動に繋がったと考えています。子どもたちの修学旅行での言動から感じることは、5年生で経験した宿泊学習がとても大きな経験として役立っているようでした。改めて地道な積み重ねや経験は大切であると実感しました。



この修学旅行で子どもたちと共に過ごしながらか、子どもたちが生活しているコミュニティのことが気になり考えてみました。

家庭というコミュニティを始めとして、小島、平内、湯泊という地区のコミュニティ。そして、八幡小学校というコミュニティ。子どもたちの周りには、コミュニティが多数存在します。学校・学級。委員会活動。係活動。クラブ活動。掃除。異年齢活動の縦割り班。授業の中では内容や子どもの思考で変わるグループ学習。八幡幼稚園児との活動。学校生活を離れると、少年団活動、習字、ダンスなど、いろいろな習い事をする子どももいることでしょう。下校後、友達と遊ぶ…これもコミュニティです。子どもたちは、このいろいろなコミュニティの中で、他者との関わりの中で、自分と向き合い喜び、悩み、葛藤しながらいろいろな経験を身に付けていきます。他者と関わる時には、自分自身の『マナー』や『エチケット』が大切になります。その上で他者とよりよく過ごすためには、他者意識のある『ルール』が重要になります。そして、社会でよりよく生きるための『モラル』へと繋がっていくのではないのでしょうか。それぞれのコミュニティで過ごす時には、楽しいことばかりではないです。前述したように、悩んだり、葛藤したり、思い通りにいかないことは当然起きるでしょう。どんなコミュニティでも。

子どもたちが将来、社会という広い世界の複雑なコミュニティで未経験なことに出会っても、他者と協力しどのように乗り越えていくか考えられるようになってほしいです。そのために、八幡小学校というコミュニティでは、できるだけ多くの経験ができるようにカリキュラムが組まれています。国語や算数などの教科や行事などを通して、予測困難な時代を乗り越えるために必要な経験や方法が身に付くように計画されています。冒頭で紹介した修学旅行は、特に、そのような活動が多く組み込まれています。